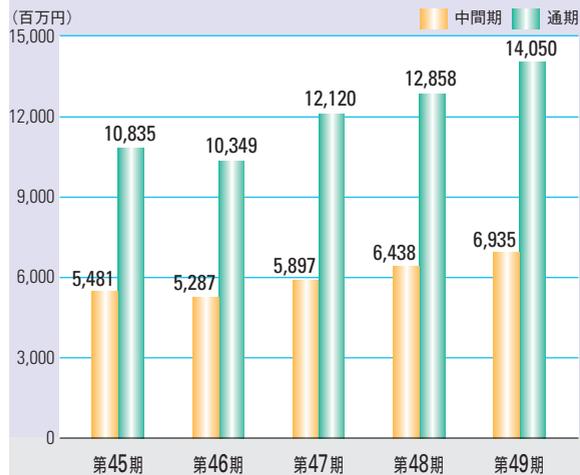


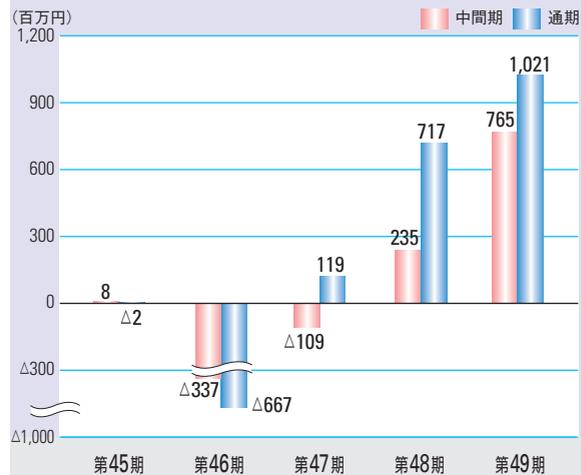
 株式会社 ジー・テイスト
第49期事業報告書
平成19年4月1日～平成20年3月31日

財務ハイライト

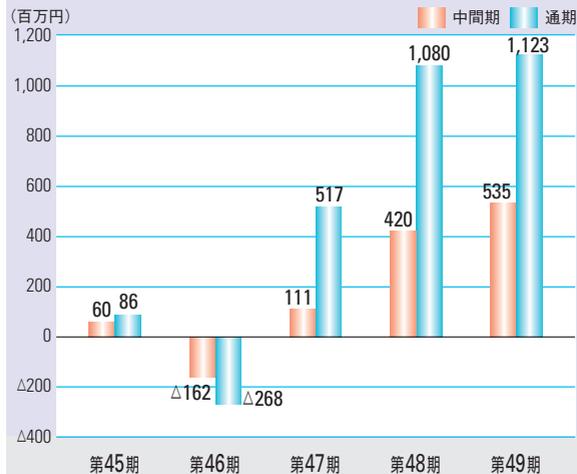
売上高



純利益



経常利益



純資産・自己資本比率





代表取締役社長

稲吉 史 泰

手頃な価格でおいしい食事を提供し、快適な食生活を楽しんでもらいたい。日本の味覚を、いつでも、気軽に楽しめるようにしたい――。

創業以来40余年、変わることなく抱き続けて参りました。

「株式会社ジー・テイスト」は、食のパイオニア企業として、21世紀の豊かな食文化の創造に貢献して参ります。

経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、企業業績の回復を背景とする設備投資の増加や雇用情勢の改善等により、緩やかな拡大基調で推移してまいりましたが、下半期以降、原油価格の一段の高騰の影響や、サブプライムローン問題を発端とする世界的な混乱などにより徐々に不透明感が増してまいりました。

外食産業におきましては、長期にわたり減少傾向にあった市場規模がようやく下げ止まり、回復の兆しが現れておりますが、競争の激化や原材料の高騰化など引き続き厳しい環境下にありました。

このような状況の中、当社は、前事業年度に引き続き積極的な新規出店を計画的に行い売上高は前事業年度比9.3%増の140億50百万円となりました。また、利益面では原油高騰による食材・資材の高騰の影響はありましたが、営業利益は前事業年度比13.0%増加の9億64百万円、経常利益は前事業年度比4.0%増加の11億23百万円となりました。さらに、所有していた固定資産を売却したことにより当期純利益は42.3%増加の10億21百万円となりました。

寿司部門におきましては、顧客のニーズに応える旬の食材を積極投入する目的で、「平禄旨み祭り」、「平禄旬の舞」など45日周期のキャンペーンを積極的に年間通じて展開いたしました。しかしながら、8月に契約満了により「平禄寿司仙台青葉エスパル店」が撤退した他、競争の激化等の理由により既存店売上が前事業年度を下回りました。また、10月以降、4店舗を新規に出店いたしました。当事業年度の売上高に対する効果は限定的となり、売上高は前事業年度比4.6%減の99億60百万円となりました。

居酒屋部門におきましては、5月に株式会社グローバルアクトより当社が主に営業展開する北陸・中越地区の15店舗を譲受け、自社及びグループ会社の業態へのリニューアルを順次進めました。同様に、7月に株式会社ジー・ネットワークスより中越地区3店舗を譲受けました。さらにFC加盟店より「とりあえず吾平」4店舗を譲受けました。また、10月に「アントニオ猪木酒場」をオープンするなど、当事業年度において計26店舗を出店いたしました。一方、既存店においても「九州フェア」「収穫祭」などのフェアを展開した結果、売上高は前事業年度比69.5%増の40億90百万円となりました。

次期の見通しにつきましては、当事業年度における運営体制、収益体制を維持しながら、顧客数の拡大及び店舗数の増加をテーマに取り組んでまいります。具体的には当事業年度に続き、旬の食材を積極的に導入するフェアの充実を図る他、新たに22店舗の出店を計画しております。一方、当事業年度に計上した固定資産売却益を見込んでいないことから、次期の見通しといたしましては売上高16,005百万円（前事業年度比13.9%増）、営業利益994百万円（前事業年度比3.1%増）、経常利益1,303百万円（前事業年度比16.1%増）、当期純利益717百万円（前事業年度比29.8%減）を見込んでおります。

当社の事業についてご紹介します

—— 当社は回転寿司や居酒屋の事業を通じて、お客様、フランチャイズのオーナー様、取引先の方々、地域の人々そして従業員にいたる当社を支え取り巻く人々との共存共栄の実現を目指します。——

仙台平緑

「おいしいお寿司を手頃な価格で楽しんでもらいたい」をモットーに回転寿司のバイオンアとして40年余。旬の素材を活かし、一皿一皿心を込めて握っております。定番メニューのほか季節限定品やオリジナルメニュー、店長のおすすめ、アラカルトなど、四季を通じてバラエティー豊かな味がお楽しみいただけます。また、お持ち帰りメニューも豊富にご用意しております。



寿司部門



ジンギスカン ヤマダモンゴル

「ヤマダモンゴル」はジンギスカンをメインにした業態です。昭和30年代にジンギスカンを考案した山田喜平さんの「羊のおいさを全国に広めたい」という思いを受け継ぎ「ヤマダモンゴル」が生まれました。昔なつかしいレトロ調の店内で、おいしく、かつ食べるだけで脂肪を燃焼させる効果があるといわれる生ラム肉をご堪能いただけます。



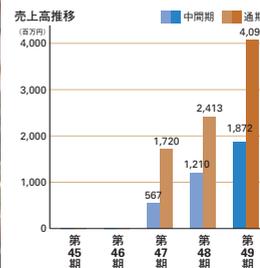
「とりあえず吾平」はヤング層からミドル層までをターゲットとした郊外を中心に展開するダイニングレストランです。くつろげる空間の中で、100品目以上のバラエティー豊かなフード、100種類以上のドリンクを良心的な価格設定でお楽しみいただけます。



昭和を舞台にし、“アントニオ猪木”を前面に、常時プロレス映像が放映される活気ある居酒屋です。アントニオ猪木氏やプロレスラーのイメージから、ボリュームのある男性が好むメニューに加え、アントニオ猪木をイメージさせるネーミングのメニューをご提供いたします。また、店内ではアントニオ猪木ミュージアムとし、ここでしか買えないアントニオ猪木ブランドのグッズやお酒など、オフィシャル店ならではの商品をご用意しております。



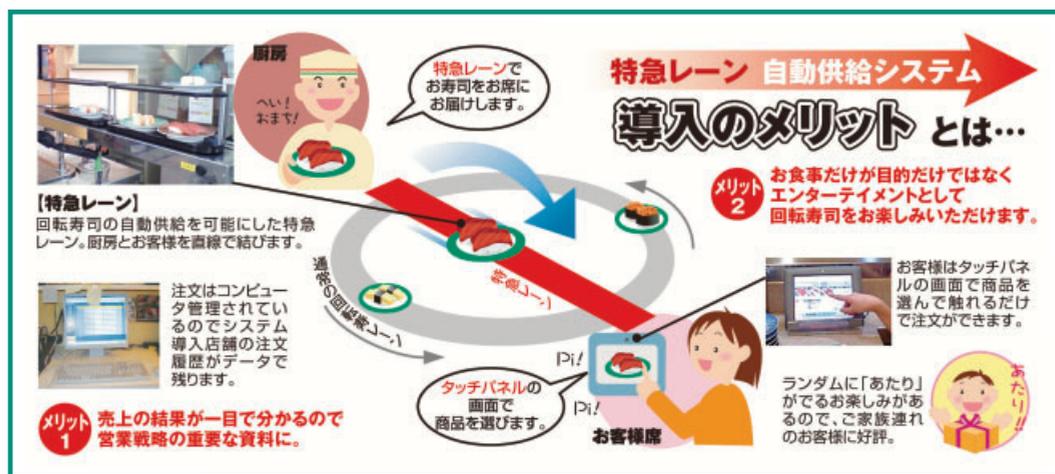
居酒屋部門



■ 自動供給システム初導入！

平禄寿司 仙台泉市名坂店に回転寿司特急レーンの登場！

「自動供給システム」とは、お客様の席に設置されたタッチパネルで食べたいものを選んで注文すると、通常回転しているコンベアではなく、厨房とお席を直線でつなぐ特急レーンに乗せて自動でお届けする最新の設備です。



市名坂店のほかに、札幌地区、福島地区に設置しております。

そして、5月2日にオープンいたしました「仙台平禄 栃木足利店」は今までの平禄寿司にはなかった新しいスタイルの店舗です。十卓あるボックス席のうち七卓に通常のコンベアがなく、特急レーンのみの専用席となっております。



■ 「ヤマダモンゴル」営業の譲受け

平成19年12月1日にジンギスカン業態「ヤマダモンゴル」のフランチャイズ本部事業を譲受けました。

今後は、様々なトライアルを行い、ブームに左右されない魅力的な業態に仕上げ、店舗数を増やしていきたいと思っております。



財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (平成20年3月31日)	前事業年度 (平成19年3月31日)
資産の部		
流動資産	1,084	2,688
現金及び預金	460	409
売掛金	53	68
棚卸資産	105	146
前払費用	142	117
繰延税金資産	72	72
関係会社貸付金	149	1,802
その他	111	149
貸倒引当金	△ 11	△ 77
固定資産	9,043	7,777
有形固定資産	3,113	4,327
建物	2,054	2,382
構築物	184	173
工具器具及び備品	170	175
土地	665	1,550
その他	38	46
無形固定資産	144	152
投資その他の資産	5,785	3,297
関係会社株式	1,490	1,490
敷金及び差入保証金	1,920	1,563
関係会社長期貸付金	472	—
投資不動産	1,825	—
その他	115	263
貸倒引当金	△ 38	△ 18
資産合計	10,128	10,466

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (平成20年3月31日)	前事業年度 (平成19年3月31日)
負債の部		
流動負債	2,898	3,470
買掛金	453	458
短期借入金	290	900
1年内返済予定の長期借入金	844	870
未払法人税等	551	436
その他	758	805
固定負債	2,571	3,318
長期借入金	1,768	2,509
預り敷金及び保証金	297	331
退職給付引当金	122	154
長期前受収益	150	247
その他	232	75
負債合計	5,469	6,789
純資産の部		
株主資本	4,657	3,673
資本金	897	897
資本剰余金	960	960
利益剰余金	2,802	1,818
利益準備金	78	78
その他利益剰余金	2,724	1,740
固定資産圧縮積立金	548	—
別途積立金	860	860
繰越利益剰余金	1,315	880
自己株式	△ 2	△ 2
評価・換算差額等	1	3
その他有価証券評価差額金	1	3
純資産合計	4,659	3,676
負債純資産合計	10,128	10,466

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）	（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）
売上高	14,050	12,858
売上原価	5,079	4,828
売上総利益	8,971	8,030
販売費及び一般管理費	8,007	7,176
営業利益	964	853
営業外収益	345	364
受取利息及び配当金	28	17
不動産賃貸料	180	131
受取販売手数料	88	185
雑収入	47	30
営業外費用	186	138
支払利息及び社債利息	52	45
不動産賃貸原価	106	70
投資事業組合運用損	6	3
雑損失	20	18
経常利益	1,123	1,080
特別利益	1,140	2
固定資産売却益	1,088	2
退職給付引当金戻入益	4	—
貸倒引当金戻入益	46	—
特別損失	230	136
固定資産除却損	17	18
原状回復費	4	—
役員退職慰労金引当金繰入額	—	50
減損損失	202	58
過年度給与	—	9
閉店損失引当金繰入額	5	—
税引前当期純利益	2,033	946
法人税、住民税及び事業税	756	453
法人税等調整額	255	△ 224
当期純利益	1,021	717

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

株主資本等変動計算書

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					自己株式	株主資本 合計	その 他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利 益 準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
					固定資産 圧縮積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰 余 金						
平成19年3月31日 残高	897	960	960	78	—	860	880	1,818	△ 2	3,673	3	3	3,676
事業年度中の変動額													
剰余金の配当			—				△ 37	△ 37		△ 37		—	△ 37
固定資産圧縮積立金積立			—		552		△ 552	—		—		—	—
固定資産圧縮積立金取崩			—		△ 3		3	—		—		—	—
当期純利益			—				1,021	1,021		1,021		—	1,021
株主資本以外の項目 の事業年度中の 変動額（純額）			—					—		—	△ 1	△ 1	△ 1
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	548	—	435	984	—	984	△ 1	△ 1	982
平成20年3月31日 残高	897	960	960	78	548	860	1,315	2,802	△ 2	4,657	1	1	4,659

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

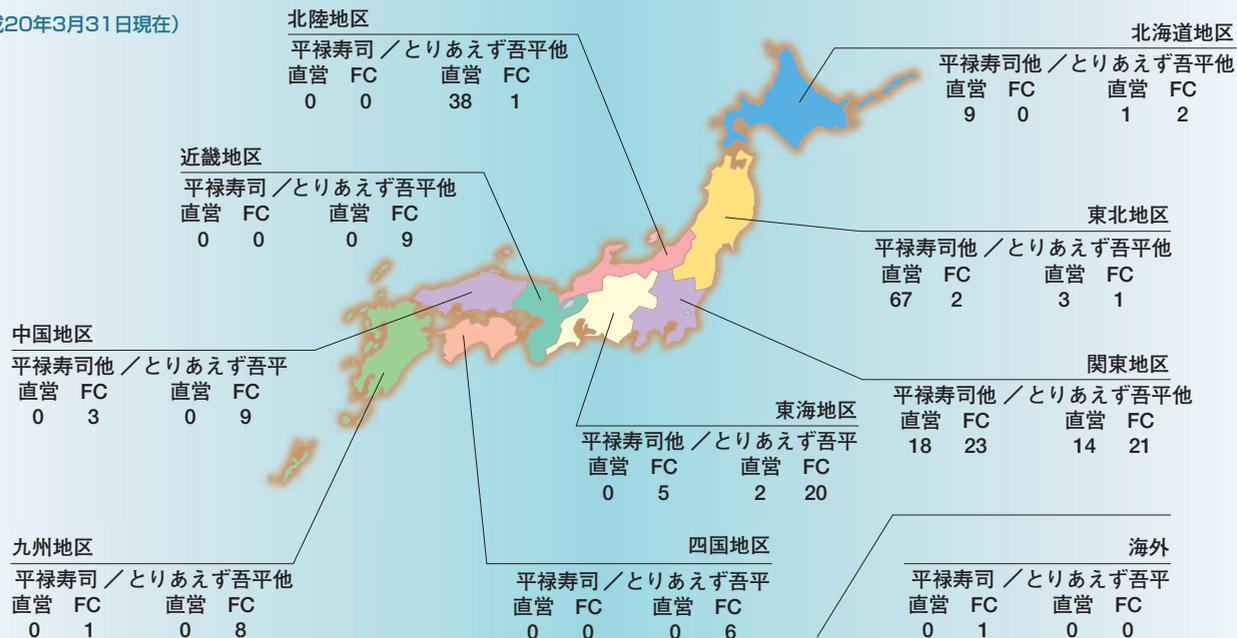
(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	586
投資活動によるキャッシュ・フロー	918
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,453
現金及び現金同等物の増加額	50
現金及び現金同等物の期首残高	409
現金及び現金同等物の期末残高	460

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

出店状況

(平成20年3月31日現在)



Column

『仙台下駄や』名古屋緑イオン大高店 3月25日オープン！ ジー・テイストのもう一つの寿司業態「下駄や」



今回、名古屋市のイオンショッピングセンター内にオープンいたしました「仙台下駄や 名古屋緑イオン大高店」は、本格的立寿司である従来の下駄やのもつ高級感をそのままに、回転寿司のコンベアを導入した今までの下駄やとは異なる新しいお店となっております。

株式の状況 (平成20年3月31日現在)

発行可能株式総数 60,000,000 株

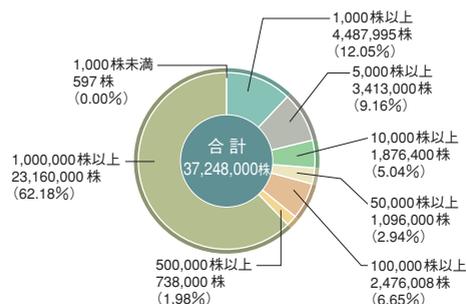
発行済株式の総数 37,248,000 株

株主数 4,115 名

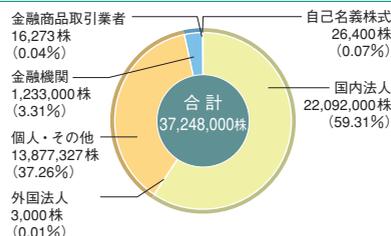
大株主

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
(株)ジー・コミュニケーション	20,264,000	54.40
江川進興	1,618,000	4.34
ジー・テイスト取引先持株会	1,278,000	3.43
江川春延	738,000	1.98
(株)七十七銀行	324,000	0.87
東金次	300,000	0.81
三井住友海上火災保険(株)	252,000	0.68
遠山仁域	188,000	0.50
(有)オレンジライフ	186,008	0.50
極洋商事(株)	168,000	0.45

所有数別株式構成比率



所有者別株式構成比率



株主優待制度のご案内



～贈呈基準～ (年間1回)
1,000株以上の株主様一律
10,000円相当額の株主優待券

年間1回、当社の株主様に対し、株主優待券を贈呈いたします。当社が経営する全店、フランチャイズ加盟店全店及び株式会社ジー・コミュニケーションのグループ各社が経営する全飲食店、NOVA全教室及び玉峰館でご利用いただけます。

(平成19年5月に株主優待基準の変更を公表いたしましたとおり、上記基準にて贈呈となります。なお、優待券の贈呈は年1回 期末のみとなり中間期末に対応する優待券の贈呈はございませんので、ご注意くださいようお願い申し上げます。)

また、平成20年3月31日以降、ご利用について一部変更になりましたのでご案内申し上げます。

- ①株主優待券につきまして、当社及びFC加盟店並びにジー・コミュニケーショングループの飲食店舗において、平日のみ(土・日・祝日を除く)ご利用いただけます。ただし、NOVA全教室及び玉峰館については、全日利用可能でございます。
- ②新たにNOVA全教室においてご利用いただけます【NOVA「駅前留学1ヶ月受講券」】を贈呈いたします。こちらは、平成20年3月31日時点の全株主様に贈呈いたします。

■ 会社概要 (平成20年3月31日現在)

商号	株式会社ジー・テイスト
会社設立日	昭和34年11月25日
資本金	897,128千円
事業内容	1. 回転寿司店の経営 2. 居酒屋店の経営 3. 関連商品の販売

■ 役員 (平成20年6月27日時点)

代表取締役社長	稲吉史泰
常務取締役	川上一郎
取締役	伊藤雄一
取締役	扇正信
取締役	太田篤
取締役	泉博士
監査役	星晴夫
監査役	鈴木丞彦
監査役	喜多壽彦

株券電子化のご案内

上場会社の「株券電子化」が2009年（平成21年）1月より実施されます。

株券が電子化されると、上場会社の株券は無効となり、株主の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されます。

このとき、株券の名義がご本人以外の名義になっている場合、株主としての権利（株式価値、配当金の受け取りなど）失う場合がありますので、早急に名義書換の手続きを行って下さい。

なお、名義書換の手続き方法等につきましては、株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社へご連絡下さい。

ホームページのご案内



ホームページ▼

<http://www.g-taste.co.jp/>

当社のホームページでは、第49期事業報告書ではお伝えしきれない、最新のトピックス、業態ごとの店舗情報、IR情報や今後の戦略など、様々な情報が掲載されています。是非、一度ご覧下さい。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金の基準日	期末配当金 3月31日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	住所変更等用紙のご請求 0120-175-417 その他のご照会 0120-176-417
ホームページアドレス	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 方 法	下記当社ホームページに掲載いたします。 http://www.g-taste.co.jp

株式会社ジー・テイスト

〒984-0042

仙台市若林区大和町5-33-18

TEL : (022) 237-5566 FAX : (022) 237-5570

ホームページアドレス <http://www.g-taste.co.jp>

G.taste